

<全体分析>

試験時間 75分

解答形式

記述, 選択, 計算, 論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

例年通り, ほとんどの計算に有効数字の指定がない。

その他トピックス

年代推定の計算が問われた([I]の問6)

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	記述 論述 計算 選択	周期表 同素体 原子量 気体の製法 気体の溶解度 電離平衡	化学	Cを中心に同素体, COの製法, CO ₂ の反応, H ₂ CO ₃ の電離平衡など多角的な内容である。また, 同素体の意味の論述も問われている。	標準
[II]	記述 計算	放射性同位体 原子の構造 結晶 反応速度 年代推定 コロイド	化学	β 壊変, コロイドの用語, 原子の構造, 結晶の計算, 反応速度式, 年代推定の計算などの内容である。	標準
[III]	記述 選択	アミノ酸 ペプチド 異性体 合成高分子化合物	化学	アミノ酸やペプチドの異性体, アミノ酸の官能基を置換した化合物の性質や反応も問うている。また, 合成高分子化合物の構造なども問うている。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 理論・無機・有機をまんべんなく学習しておくこと。
2. 基礎的な事項を十分整理しておくこと。
3. 論述問題も出題されるので、平素から書く練習をしておくこと。
4. 問題演習を十分に行っておくこと。